

高耐候低汚染1液水性アクリルシリコン樹脂つや消し塗料

アレスシルクウォール

適用素材 コンクリート、モルタル、サイディングボードなど

適用旧塗膜 リシン、スタッコ、つや消し意匠材など

Ales Silk Wall

やさしい質感

「マイクロパウダー技法」を用いた
つや消し技術により、
おだやかなつや消し感を呈します。

優れた低汚染性

「特殊防汚成分」による
低汚染性は美観を
長期にわたり維持します。

高い耐久性

弾性系塗材にも塗装可能で
経年での耐ワレ性に優れた
耐久性を有します。

アレスシルクウォール (容量:15kg)



標準塗装仕様(例)

コンクリート/モルタル(塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	アレスホルダーGⅡ	ウールローラー	8時間以上7日以内	上水 (5~10%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	多孔質ローラー	8時間以上7日以内	上水 (1~5%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

窯業系サイディング(塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	窯業系サイディングボードのクラック、ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	アレス水性エポキシ(ベース/硬化剤=5/1)	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	上水 (0~15%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

艶消し意匠材(塗替時の仕様)

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率)
1	素地調整	モルタルの浮き・クラックなどは適切な処置を行う。 劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄な面とする。			
2	下塗り	アレス水性エポキシ(ベース/硬化剤=5/1)	ハケ、ローラー	4時間以上7日以内	上水 (0~15%)
3	上塗り (1回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	2時間以上7日以内	上水 (0~10%)
4	上塗り (2回目)	アレスシルクウォール	ハケ、ローラー	-	上水 (0~10%)

*標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマー-EPO)をご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 黄・赤・青・緑系の牙えた色で仕上げられる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目と共色で塗装して仕上げることをお奨めします。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑性のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際には「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を使用することをお勧めします。
- 10) 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 11) 施工部位、被塗物の形状、環境条件により低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 12) 塗料を開放して長時間放置すると上乾きする場合がありますのでご注意ください。
- 13) 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 14) 建物の構造上、雨掛りの少ない面や結露が生じ易い場合において、塗膜表面に膨れ、白化、艶ムラ、粘着物が発生する恐れがあります。著しい結露が予想される場合は、溶剤系塗料での施工をお勧めします。
- 15) 降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生した際には、水道水で十分に洗浄または水拭きにより除去した後、十分乾燥させてください。
- 16) 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛った場合や、低温、高湿度、通風の無い環境では、膨れ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがあります。やむを得ず塗装する場合は強制換気などで乾燥を促進させてください。
- 17) ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 18) 過希釈は隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 19) 補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 20) 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理してから塗装してください。
- 21) 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・手袋を着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。

吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757

東京 TEL(03)5711-8905

FAX(03)5711-8935

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285

東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073

中 部 TEL(052)262-0921

FAX(052)262-0981

四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950

北関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

大 阪 TEL(06)6203-5701

FAX(06)6203-5603

九 州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(20年05月06日PKO) カタログNo.737